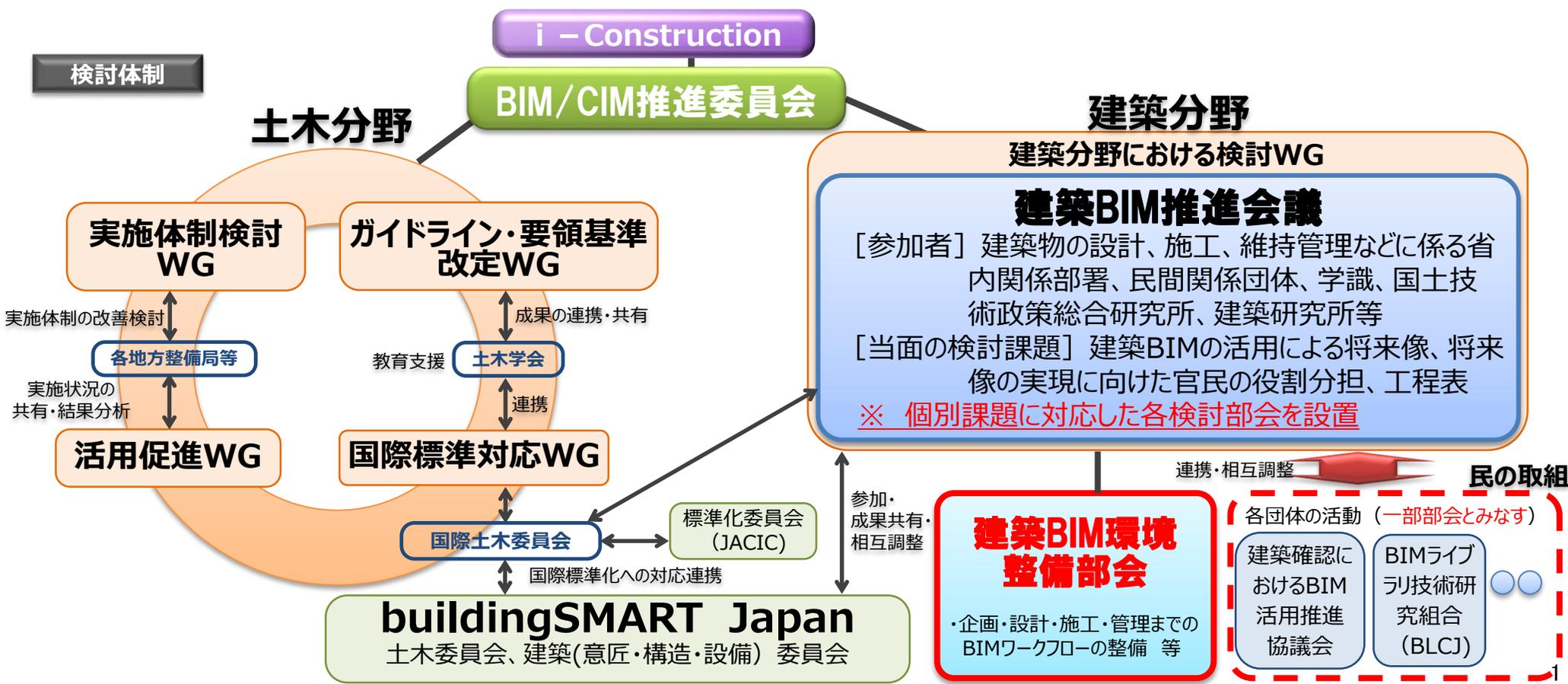


各部会の設置状況等について

令和元年12月
建築BIM環境整備部会

- ✓ 建築物の生産プロセス及び維持・管理において、BIMを通じ情報が一貫して利活用される仕組みの構築を図り、建築分野での生産性向上を図るため、官民が一体となってBIMの推進を図るため建築BIM推進会議を省内に構築（既存のBIM/CIM推進委員会の下に建築分野における検討WGとして構成）。
- ✓ 建築BIM推進会議においては、各分野で進んでいる検討状況の共有や建築BIMを活用した建築物の生産・維持管理プロセスやBIMのもたらす周辺環境の将来像を提示するとともに、将来像に向けた官民の役割分担・工程表（ロードマップ）を提示。
- ✓ 個別課題に対応するため、企画・設計・施工・管理までのワークフロー等を検討する「建築BIM環境整備部会」の設置や、各団体の活動を部会に位置づけることで、建築BIM活用に向けた市場環境の整備を推進。



●学識

[部会長]	志手 一哉	芝浦工業大学建築学部建築学科 教授
	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学建築学部建築学科 教授
	清家 剛	東京大学大学院新領域創生科学研究科 教授
	安田 幸一	東京工業大学 環境・社会理工学院 教授

●関係団体

		民間団体等
設計		(公社)日本建築士会連合会 (一社)日本建築士事務所協会連合会 (公社)日本建築家協会[JIA] (一社)日本建築構造技術者協会[JSCA] (一社)日本設備設計事務所協会連合会[JAFMEC] (一社)建築設備技術者協会[JABMEE] (公社)日本建築積算協会[BSIJ]
	うち 建築確認	日本建築行政会議 [JCBA] (一財)日本建築センター
施工		(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会 (一社)日本電設工業協会、(一社)日本空調衛生工事業協会
維持・管理 発注者等		(一社)住宅生産団体連合会、(公社)日本ファミリーマネジメント協会 [JFMA] BIMライブラリ技術研究組合 [BLCJ]、(一社)不動産協会[RECAJ]
調査・研究		国土技術総合研究所、国立研究開発法人 建築研究所 (一社) buildingSMART Japan [bSJ]、(一社)日本建築学会 [AIJ]
情報システム・国際標準等		(一財)日本建設情報総合センター [JACIC] (一社)建築・住宅国際機構 [IIBH]

●国土交通省

○令和元年10月23日付けで、以下のとおり部会を設置。
 ○今年度の活動状況について、第4回建築BIM推進会議（令和2年3月11日予定）にてご報告いただく予定。

・部会2 「BIM モデルの形状と属性情報の標準化」検討部会

主体団体	オブザーバー団体等	開催状況
BIMライブラリ技術研究組合 [BLCJ]	(一社)日本建築構造技術者協会[JSCA] (一社)日本設備設計事務所協会連合会[JAFMEC] (一社)建築設備技術者協会[JABMEE]	(在り方部会)第1回 12/3、次回 2月上旬 (建築部会)第1回 11/28、次回 2/6 (設備部会)第1回 10/28、次回 1月下旬 (運用部会) 未定 (連携部会)第1回11/29、次回 2月上旬

・部会3 「BIM を活用した建築確認検査の実施」検討部会

主体団体	オブザーバー団体等	開催状況
建築確認におけるBIM活用推進協議会	日本建築行政会議 [JCBA] 国立研究開発法人 建築研究所 (一社) buildingSMART Japan [bSJ] (一社)日本建築構造技術者協会[JSCA] (一社)日本設備設計事務所協会連合会[JAFMEC] (一社)建築設備技術者協会[JABMEE]	検討委員会：2/10予定 [一般建築]作業部会：11/6、12/12 [戸建住宅等]作業部会：10/23、12/2 ※設置前に以下開催 理事会・総会7/25、検討委員会9/26

・部会4 「BIM による積算の標準化」検討部会

主体団体	オブザーバー団体等	開催状況
(公社)日本建築積算協会[BSIJ]	(一社)日本建築構造技術者協会[JSCA] (一社)日本設備設計事務所協会連合会[JAFMEC] (一社)建築設備技術者協会[JABMEE]	第1回：12/4 次回以降：2月初旬～中旬予定

※国土交通省はすべての部会にオブザーバー参加。

- 令和元年10月23日付けで、以下のとおり部会を設置。
- 今年度の活動状況について、第4回建築BIM推進会議（令和2年3月11日予定）にてご報告いただく予定。

・部会5 「BIM の情報共有基盤の整備」検討部会

主体団体	オブザーバー団体等	開催状況
(一社) buildingSMART Japan [bSJ]	(一社)日本建築学会 [AIJ] (一社)建築・住宅国際機構 [IIBH] (公社)日本建築家協会[JIA] (公社)日本建築士会連合会 (一社)日本建築士事務所協会連合会 BIMライブラリ技術研究組合 国土技術政策総合研究所 国立研究開発法人 建築研究所 (一社)日本建設業連合会 (一社)日本建築構造技術者協会[JSCA] (一社)日本設備設計事務所協会連合会[JAFMEC] (一社)建築設備技術者協会[JABMEE] (一社)日本空調衛生工事業協会	第1回：11/14 次回以降：1/16予定、2/27予定

建築BIMの活用による将来像と実現に向けた必要な取組(ロードマップ)

建築BIMの普及・進化

高効率なライフサイクルの実現

無駄なく、速く

- 投資効果の可視化（コストマネジメント）による迅速な意思決定
- 設計・施工・維持管理段階の円滑な情報の伝達により、無駄のない建物のライフサイクルを実現
- 設計、施工の各工程の作業効率化
- 維持管理の省力化の実現
- 海外との共通・競争基盤としてのBIMの確立

高品質・高精度な建築生産・維持管理の実現

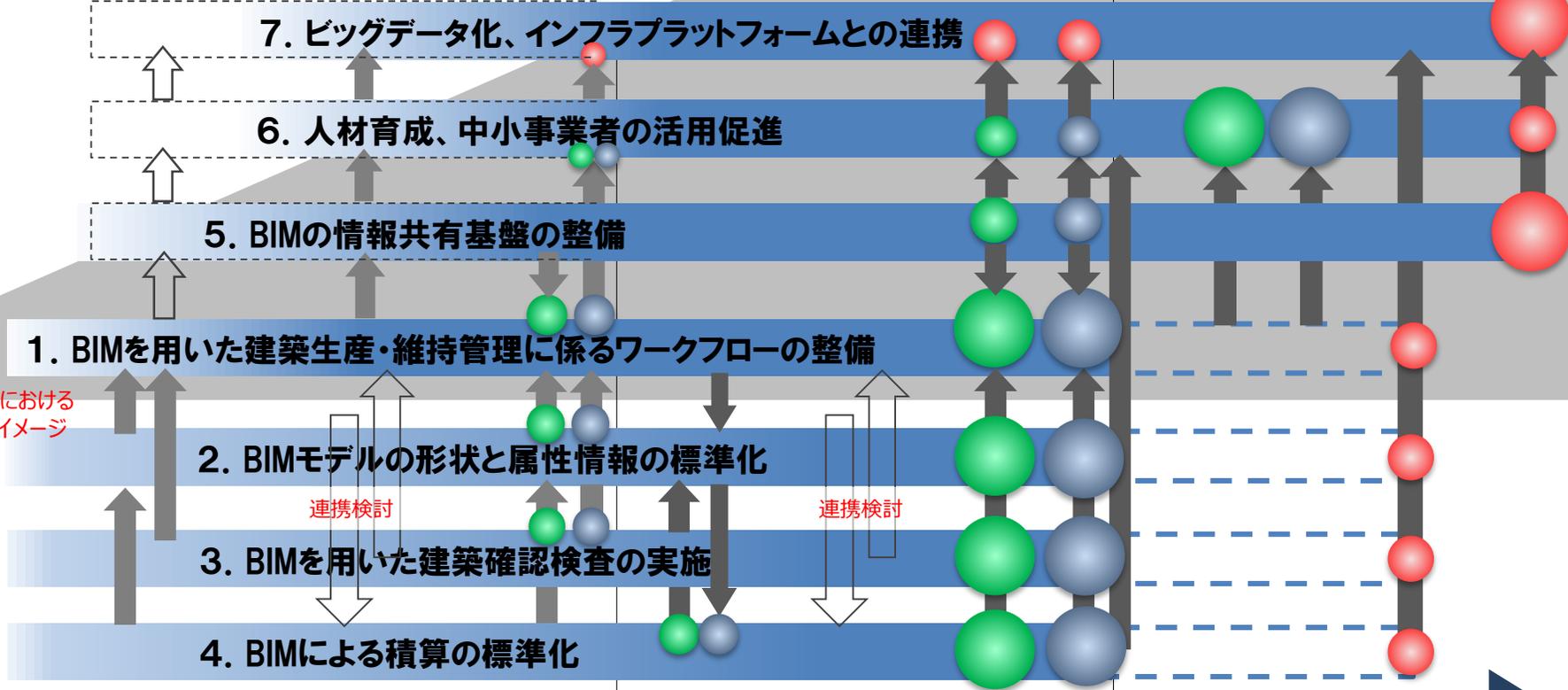
いいものが

- 3Dモデルの形状と属性情報により空間を確認できることで、建築のプロでない人でもイメージを共有
- 設計・建設時の情報が一元管理されることで、建築時の効率的な品質管理を実現
- 完成後も活用可能なデータにより、最適な維持管理、資産管理、エネルギー管理を支援

社会資産としての建築物の価値の拡大

建物にも、データにも価値が

- 適正かつリアルタイムな資産評価・資産管理の実現
- センサー等との連携による建築物へのサービスの拡大
- ビッグデータ・AIの活用による建築物を起点とした新たな産業の創出
- インフラプラットフォームとの融合による最適ナリリスク管理の実現



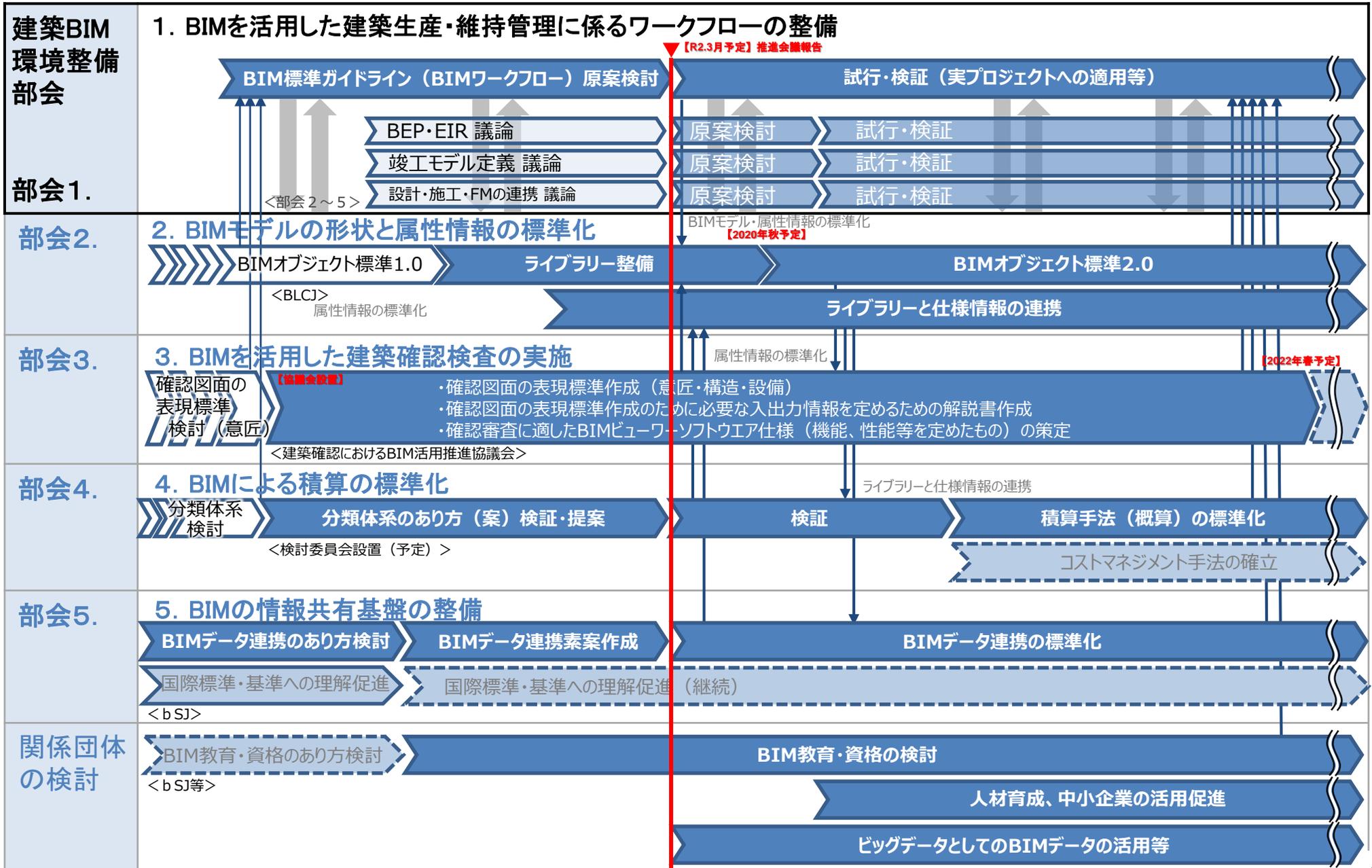
先行的取組における現在の到達イメージ

連携検討

連携検討

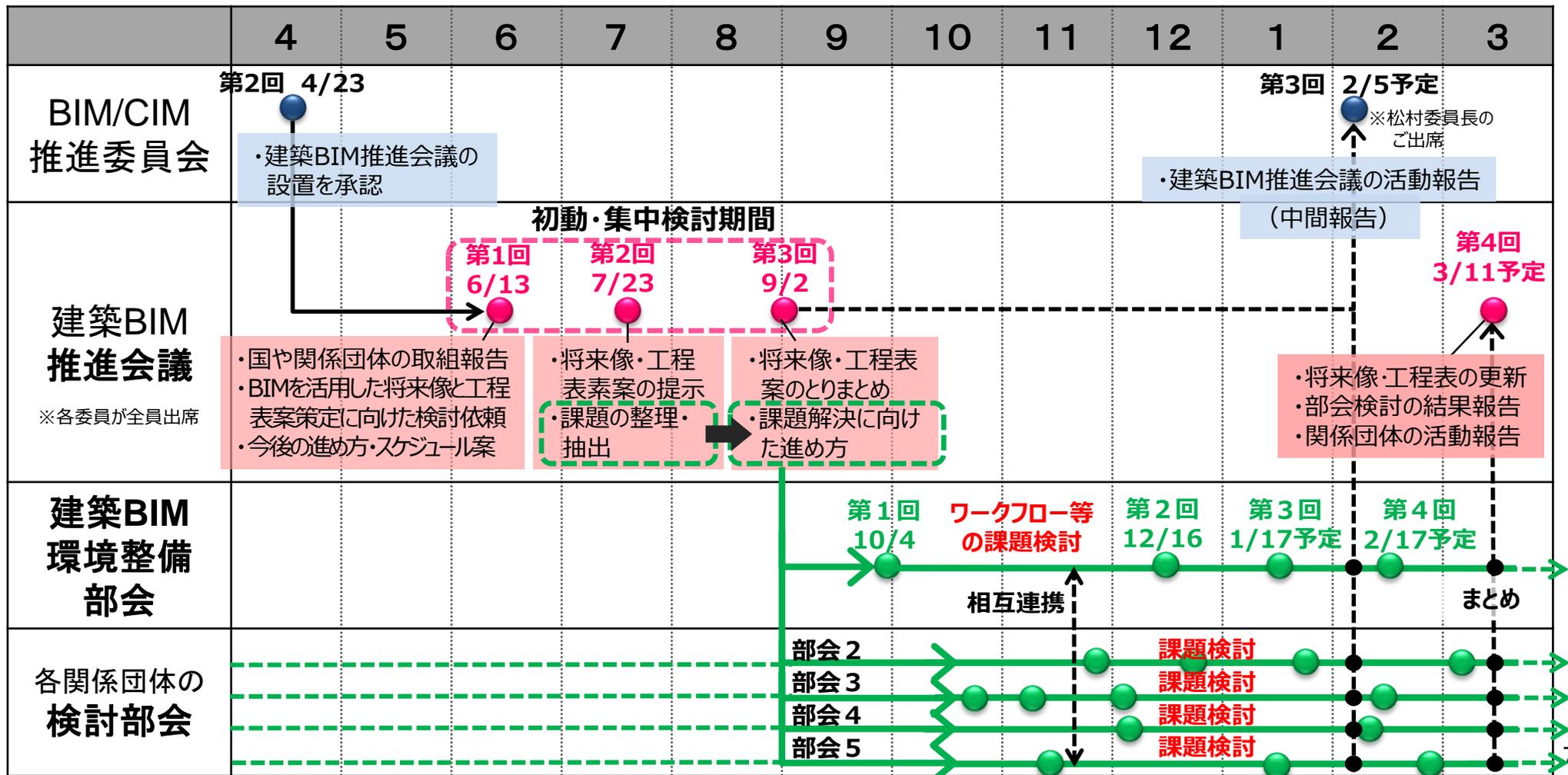
将来像を実現するための取組の流れと効果の発現 (ロードマップ)

部会等の検討の流れ イメージ(案)



建築BIM推進会議・部会等の進め方・スケジュール 案 [2019年度] 国土交通省

- ✓ 6月～9月の間で3回、建築BIM推進会議を開催し、BIMを活用した建築生産プロセスの将来像及びこれに向けた工程表（案）を策定。2019年度下半期に 個別の課題に対応する部会を設置し、個別課題の検討を開始。
- ✓ 2019年9月以降、建築BIM推進会議は部会の検討結果の共有、関係団体の活動状況の共有を図る場として活用。
- ✓ 第4回建築BIM推進会議（3/11予定）では、将来像・工程表の更新（リーフレット）案を策定。
また、**BIM標準ガイドライン（BIMワークフロー）案**を含む部会の活動報告や関係団体の活動報告を実施。



(お願い)今後の進め方について

- ◆ 今後、BIM標準ガイドライン（案）をブラッシュアップしていくため、参加団体のみなさまにおかれては、会議後1週間程度の期間で意見照会させていただきたいと考えており、ご協力をお願いしたい。
（詳細は後日メールにて連絡）
- ◆ いただいたご意見を踏まえて修正等を行い、次回の部会にてお示しすることとしたい。